



飯鉢王朝 絵画展

2019年1月26日(土)―2月24日(日)

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 ◎一般個人 200円
◎高校生以下 無料
※あゆーむ年間パスポート提示で
無料(何回でも入場可)

主催・お問合せ・会場
白鷹町文化交流センターAYu:M あゆーむ
〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地
TEL.0238-85-9071



《冬樹》



《地獄》



《無題》



《青銅器》



《鎮墓獸》

飯鉢王朝 絵画展

1933年白鷹町広野に生まれる。本名：治雄。
 荒砥高等学校第1期卒業生。栃木県宇都宮市在住。
 東京藝術大学大学院日本画科修士課程修了。
 郷倉千韜、今野忠一に師事。宇都宮大学講師。
 院展作家として活躍し、院展奨励賞を4回受賞。
 現在院展「特待」。昨年85歳を機に、白鷹町に
 絵画51点、その他中国古代青銅器など独自のコレ
 レクションを110点寄贈。

本展覧会は、今回寄贈を受けた作品の初のお披露目となる展覧会です。

■活動歴

- 1970年 日本美術院展 奨励賞 白寿賞（地獄絵図）
- 1971年 文化庁現代美術選抜展（地獄絵図）
- 1971年 日本美術院春季展 奨励賞（地獄）
- 1975年 日本美術院春季展 奨励賞（汚染水域）
- 1978年 日本美術院展 奨励賞（晩夏）
- 1994年 日本美術院展（白玄譜）
- 1996年 日本美術院展（北壁）
- 1999年 日本美術院展（風の道）
- 2000年 日本美術院展（凍る風）

■飯鉢王朝氏の美術品コレクションについて

飯鉢王朝氏は、本来の絵画作品の制作に情熱を傾ける一方で、中国古代青銅器をはじめ、韓国、日本その他内外の陶磁器や仏像、彫像など多彩なコレクションの蒐集に情熱を注がれました。
 今回、絵画作品とともに110点の美術品コレクションを白鷹町にご寄贈いただきました。今回展示する作品は、それらの中から数点をご紹介しますにとどめ、コレクションの全体像は、改めて展示する機会を持つ予定です。

コレクションの個々の真贋は、不明です。贋作・模造品も多い分野ですので、あくまで、飯鉢王朝氏の個性や審美的傾向が垣間見える興味深いコレクションとして見ていただきたく存じます。おおよその年代が書いてあるものもありますが、これもその時代の様式を表す参考年代としてご鑑賞いただければ幸いです。

アクセス

白鷹町文化交流センターAYu:M

- [車] 山形市より国道348号線で約35分
- [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約50分）徒歩約4分
- [お問合せ] 0238-85-9071

